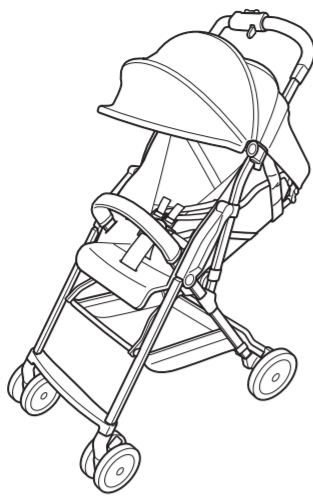


コンビ ベビーカー F2plus 取扱説明書

品質保証書付

F2plus (A型)
安全基準A型
(1ヵ月～36ヵ月ごろまで)



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 本書は大切に保管してください。
- 本製品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。
- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
- 望ましい連続使用時間・2時間以内(ただし、生後7ヵ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)
- 使用できるお子さまの年齢
生後1ヵ月※以上36ヵ月ごろまで(お子さまの体重の目安15kg以下)
※生後1ヵ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ胎齢週37週以上を満たし、1ヵ月経過したお子さまを示します。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよびご使用者のかたが重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。
- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、初動段階により「警告」「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

表示	表示の内容
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の可能性があります。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

警告/注意をうながす内容があることを告げるものです。	補足説明
禁止行為であることを告げるものです。	

警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- カゴ以外のところに荷物をのせた上、ハンドルに荷物をつるさないでください。ベビーカーが不安定になり転倒してお子さまが落下するおそれがあります。また、ハンドルに寄りかかったり、ハンドルを無理に押し下げるなど、過度の荷重は避けなければなりません。破損・故障の原因となります。
- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまを着脱シート以外のところに乗せないでください。
- 無理な段差乗り越えは、前輪に衝撃が加わり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。また、破損・故障の原因となります。積石などの段差を乗り越える場合は、必ず両手でハンドルを握り、後部ステアリングをしっかりと握り、足をつけてハンドルを前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。



- お子さまが降りる際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますので、しっかりと支えてください。
- 縁路や排水口などの路面の溝に車輪を取られたり、はさまないように、溝の部分は車輪を浮かせて通ってください。
- ホームや電車などの段差やすき間に車輪をはさまったり、引っかかりたりしてベビーカーが転倒するおそれがあります。十分注意して乗降してください。
- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 破損や異常が発生した場合は、必ず修理を受けてください。当社コンシューマープラザにご連絡ください。

お子さまがケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。
- 指や手を挟んだりするおそれがあります。
- 機を閉めた後、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手を挟んだりするおそれがあります。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。
- 転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーに大人が寄りかかったり、過度の荷重を加えないでください。破損・故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは走り回らないでください。走るキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけを動かさず、必ず両手でハンドルを握り、後部ステアリングをしっかりと握り、足をつけてハンドルを前に引き、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 雷の強いときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 雷のとき使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天の日中は、路面の影響によりベビーカーの温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- ベビーカーを横向きに寝かせたり、上に荷物をのせた状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれるおそれがあります。

- お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。
- 開閉ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。(「ベビーカーの開きかた」の警告内の図参照)

お子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せるときは必ずシートベルトを締めてください。締めた後、シートベルトの締めかたが不完全な場合、使用上にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めていても、万が一の落下時には十分に注意してください。
- お子さまは背中が丸くなるにつれ、肩幅の広がりが旺盛になります。力も強くなり自分シートベルトをはずすおそれがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。
- すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。肩・腰バックルを股バックルに取り付け、ベルトを強く引き、確実に取り付けられていることを確認してください。

ベビーカーが動き出したり、転倒するおそれがあります。

- ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても、動き出したり転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- ベビーカーは空車であっても坂道の途中、車道に近い歩道上など危険な場所へ放置しないでください。

保管のしかた

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがからない場所を立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- ベビーカーに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカーを立てた状態で保管する場合は、必ずストッパーをかけてください。ベビーカーが動き出し転倒するおそれがあります。
- ベビーカーを覆かして保管する場合は、背面を下に向けてください。横向きに覆かして保管すると、故障や変形の原因となります。

点検とアフターサービスについて

- ご使用前に、締結部品のゆるみ、部品の欠損および作動不良などの異常がないか点検してください。
- ご使用中に車体の破損、異常、締結部品のゆるみ、タイヤの磨耗、シートおよびシートベルトにやぶれ・ほつれなどが発生した場合や、部品の交換または修理が必要な箇所を発見した場合、ただちに使用を中止して当社コンシューマープラザにご連絡ください。そのまますま使用すると、重大な事故につながるおそれがあります。お問い合わせの際は、シート下の車体前側から見て左側フレームに貼ってあるシールをご覧ください。製品名・ロットNo.をお知らせください。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お手入れの際には必ずこの取扱説明書、本書をよく読んでお読みください。取りはずすたまたまとお子さまが危険です。
- 本製品の修理・部品販売は、原則として製品の製造中止から3年後までとなります。この期間内でも該当部品の在庫がなくなった場合、対応できないことがあります。また、色や仕様が若干異なる部品で対応させていただきます場合もあります。あらかじめご了承ください。

ベビーカーの開きかた

- ベビーカーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手を挟むおそれがあります。
- ベビーカーを開いた後、開閉ロックがかかっていることを必ず確認してください。急に折りたたまれるおそれがあります。



●手元ロックスライダーが元の位置に戻り、折りたたみがロックされていることを確認してください。

- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ベビーカーを持ち上げた状態で、折りたたみレバーを握りロックを解除すると、破損のおそれがあります。
- 手元ロックスライダーをスライドさせずに折りたたみレバーを握らないでください。無理に握ると破損するおそれがあります。

1. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、
 2. ハンドルを持ち上げ、
 3. そのままハンドルを手前に倒す。
- ベビーカーが完全に開きます。

1. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。

1. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、

2. ハンドルを持ち上げ、
3. そのままハンドルを手前に倒す。



2. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



2. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



レシート(領収書)貼り付け欄

品質保証書 コンビ ベビーカー

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。

- 保証規定
1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 2. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
 3. 保証期間中でも次のようなものは有料修理となります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) 縫製部品の破れや変色。
 - (c) 製品の劣化。
 - (d) お客様の使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (e) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスはいたしません。
 5. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

製品名	ロットNo.	お買い上げ日	保証期間	お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お名前	ご住所	〒	TEL	
お名前	様	住所	TEL	
販売店名	住所			

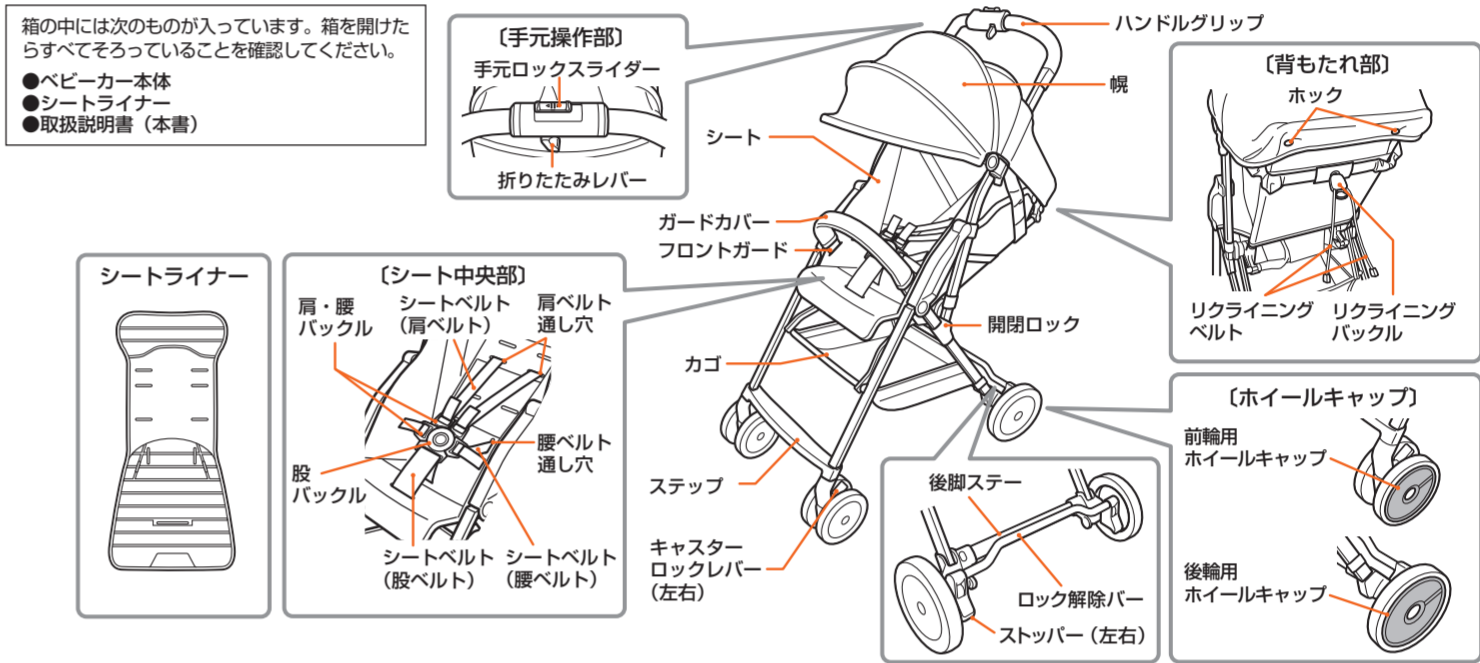
- 修理メモ
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お名前、販売店名をたまたみに記入願います。
 - このページの上部のシールに貼付されたシール(保証書)を貼ってください。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに限り無料で修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理については不明な場合は、当社コンシューマープラザにお問い合わせください。
 - 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定により、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

Combi ベビーカー F2plus

Combi株式会社
製品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)
受付時間: 9:30~17:00 (日祝日、年末年始を除く) 〒339-0025 埼玉県さいたま市青葉区新野田2-7-1
TEL (048) 797-1000 FAX (048) 798-6109
■総合受付(各種ご相談) 製品に関するお問い合わせ/修理のご依頼/各種ご相談/その他
TEL (048) 797-1001 FAX (048) 798-6109
コンシューマープラザ (Customer Service Center) / 西日本担当
受付時間: 10:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く) 〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16
TEL (06) 6942-0379 FAX (06) 6942-0302
*コンシューマープラザホームページ www.combi.co.jp/souden

各部のなまえ



日常のお手入れ

縫製部品の洗濯について

- 機織のプラスチック部分などでケガをしないように注意してください。
- シートの取りはずしはできません。
- 製品の特性上黄色く変色することがあります。日光、漂白剤入り洗剤は肌荒れ、発疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 保管状態により、カビが発生する可能性があります。こまめに洗濯をし、清潔に保つよう心がけてください。
- 色落ちするおそれがありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。また、つけ置き洗いを避けてください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

車体の清掃について

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。

注油について

- お子さまがなめる可能性の高い部分などには油が付着しないようご注意ください。
- きしみが発生したり、作動が鈍くなったときは注油が必要と思われる場合は、必ず、潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

SGマークの被害者救済制度

SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、製品安全協会が事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施する制度です。

ベビーカーの場合は、お買い上げ日より4年以内が有効期間となります。

賠償についてのご注意

- 賠償の対象となる製品は、認定された製品そのものが故障したとしても、その品質について保証するものではありません。あくまでも被害者ご自身の身体的損害(人的損害)について賠償する制度です。
- 製品の欠陥により事故が起きた場合、損害を被った消費者(お子さまなど)は、被害者(保護者)が、事故発生日から60日以内に下記までご連絡願います。

一般財団法人 製品安全協会
東京都台東区東上野2丁目20番2号 ミサワホームズ3号2階
TEL (03) 5808-3300

事故の届出に必要項目

- ① 事故の原因となった製品製品名
- ② 事故発生状況
- ③ 被害者の状況
- ④ 製品のロットNo.・購入先、購入年月日
- ⑤ 事故発生年月日・事故発生場所・事故発生状況
- ⑥ 被害者の氏名、年齢、性別、住所・被害の状況

廃棄方法について

お住まいの各自自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの「標準使用期間」について

- ベビーカーの「標準使用期間」は「新規購入後5年」です。標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果せず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。
- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート(領収書)と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります。この期間の品質を保証するものではありません。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 品質保証書に記載されている「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。

ベビーカーの折りたたみかた

- ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手を挟むおそれがあります。

1. 左右のキャスターロックレバーを上げて、ロックする。
2. 手元ロックスライダーから手を離し、折りたたみをロックする。折りたたみレバーが自動でロックされます。ロックされていることを必ず確認してください。



3. 手元ロックスライダーを矢印方向にスライドさせながら折りたたみレバーを握り、
 4. ハンドルを持ち上げ、そのままハンドルを手前に倒す。
- ベビーカーが折りたたまれます。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた

警告

- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。締めずに乗せたり、ベルトの締めかたが不完全な場合、使用中にお子さまが落ちるおそれがあります。また、シートベルトを締めなくても、万一の抜け出し、立ち上がりには十分注意してください。
- シートベルトの長さはお子さまの体に合わせ調整し、掛け間違いにならないようしっかりと締めてください。
- シートベルトが長すぎるとお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す場合は、必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。操作後は肩ベルトを適切な長さに調整してください。
- 肩ベルトを差し込みバックルに取り付ける際に、左右のベルトを交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。

●シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

肩・腰ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。

※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

【ゆるめるとき】

バックル表側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。バックル裏側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

※ 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調整してください。使用中に肩・腰ベルトが抜けて、お子さまが落ちるおそれがあります。取り付け後、肩・腰ベルトを強く引っ張り、それぞれのバックルから抜けないことを確認してください。

【ポイント】

- ベルトの調節の目安がわからない。→ お子さまとベルトの間に、大人の指の第2関節が入るくらいのすき間が目安です。
- 肩ベルトの先端がお子さまの顔の付近にくると、お子さまが引っばって遊んでしまうおそれは、肩バックルのベルト通し③部分に通してお使いできます。

シートベルトを締めるとき

1. お子さまをベビーカーに座らせ、お子さまの肩に左右の肩ベルトをあわせる。
2. 肩バックルを腰バックルに重ねる。
3. 股バックルを引き出し、股バックルの左右に重ねた肩と腰バックルを差し込み、「カチッ」と音がすることを確認する。
4. 肩ベルト、腰ベルトを引っばって、はずれないことを確認する。

バックルボタンを押す。

バックルボタンを押す。

【ポイント】

- 背もたれを頻りに倒したり起こしたりする月齢期は、下の肩ベルト通し穴を使用してください。肩ベルト通し穴の位置を変えるときは、「肩ベルトの取り付けかた」をご覧ください。確実に取り付けてください。
- 長さを調整する際はシートベルトを肩・腰バックルからはずしたときは、「肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき」をご覧ください。確実に取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- 肩・腰バックルをはずす際は、バックルボタンの両側を交互に押して、片側ずつはずしてください。

股ベルトの長さを調節するとき

【締めるとき】

ベルトの先端を矢印の方向に引く。

【ゆるめるとき】

股バックル裏側からベルトを矢印①の方向に引き、ベルトをゆるめる。股バックル表側を通るベルトを矢印②の方向に引く。

【ポイント】

- 股ベルトは、取りはずしできません。

肩・腰ベルトをバックルへ取り付けるとき

【ポイント】

- 肩・腰バックルへのベルトの取り付けかたが、不完全な場合、使用中にベルトが抜けるおそれがあります。
- ベルトを肩・腰バックルに取り付け後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してから、使用してください。

※ 肩・腰ベルトの長さは、ベルトの端が3cm以上残るように調整してください。

※ 腰バックル右側でイラスト表現しています。

1. バックルのベルト通し①にベルトを通し、ベルト通し②にベルトを通す。
2. ベルト通し③にベルトを通す。
3. ベルト通し④にベルトを通す。
4. ベルト通し⑤にベルトを通す。(ベルト通し⑤と⑥にはベルトが2重に通ります)

フロントガードの使いかた

【ポイント】

- フロントガードに関係なく、お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がり防止のものではありません。
- ガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がずれたり、フロントガードがはずれる可能性があります。

【注意】

- フロントガードの片側をはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。
- フロントガードを片側だけはずした状態で保管しないでください。フロントガード本体の変形の原因となります。

●お子さまの乗せ降ろし時にフロントガードを開くと、よりスムーズに乗せ降ろしができます。

●フロントガードは完全に取付はすることができません。

ガードカバーのはずしかた、取り付けかた

【ポイント】

- ガードカバーは、注意ラベル側を表にして使用してください。

【注意】

- ガードカバーをはずすときは、必ずフロントガードを開き、ガードカバーをはずす。

【注意】

- ガードカバーをはずした状態でフロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。

ストッパーの使いかた

【ポイント】

- ストッパーを通過しないでください。ストッパーをかけていても動き出し、転倒するおそれがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。また、ストッパーは左右ともかけて使用してください。ベビーカーが動き出し、転倒するおそれがあります。

【注意】

- 空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右ともストッパーのロックをかけてください。ストッパーのロックが不完全な場合、動き出すことがあります。

ベビーカーを停止させているときには、必ずストッパーのロックをかけてください。

カゴの取り付けかた

【注意】

- 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
- 角のつがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものは入れないでください。荷物の落下やカゴの変形およびぶれの原因となります。
- ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のぶれの原因となります。

1. カゴ前後左右の固定用ベルトを、前後脚の中間付近にあるカゴ取付用通し穴(計4カ所)に通し、ベルト先端の折り返し部を引っかけてとめる。
2. カゴ後下方側の固定用ベルトを、後脚パイプに巻きつけてU字フックでとめる。
3. 最後に各固定用ベルトがしっかりとまわっているか、引っばって確認する。

フロントガードの開閉

【ポイント】

- ガードボタンを矢印方向に押しながら、フロントガードを引き抜く。

【注意】

- フロントガードを差込み穴にフロントガード差込み部を「カチッ」と音がするまで差し込む。
- フロントガードを引っばって、はずれないことを確認する。

キャスターの使いかた

【ポイント】

- キャスターロックレバーを下げて、ロックを解除する。キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズになります。

【注意】

- キャスターロックレバーを上げてロックする。キャスターをロックすると、坂道や凹凸の路面で押しやすくなります。

ストッパーをロックするとき

1. 車体後側のストッパーを押し下げてロックする。
2. ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ストッパーのロックを解除するとき

車体後側のロック解除バーの中央を足で踏み込んでロックを解除する。

トッポウウィンドー(幌窓)の開きかた

窓カバーを開けると、お子さまの様子を見ることができます。

【ポイント】

- 2個のロックをはずし、窓カバーを巻き上げ、バックルでとめる。

【注意】

- バックルをはずし、窓カバーの2個のロックを幌のロックにとめる。

幌の取り付けかた、はずしかた、使いかた

【ポイント】

- ベビーカーを折りたたむときは、必ず幌を後側にまとめてください。

【注意】

- 幌を開閉するときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさむおそれがあります。

【ポイント】

- 幌を閉めるときは、両手で幌フレームを持ち、幌を前に広げる。

【注意】

- 使用する際は、必ず幌を後側にまとめる。

リクライニングの使いかた

【ポイント】

- リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調整してください。

【注意】

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないよう十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態で使用してください。

ホイールキャップの取り付けかた、はずしかた

【ポイント】

- 取りはずし取り付けの際は、指や爪をケガしないよう注意してください。
- ホイールキャップ固定用のツメの先端は、はずれにくくするためとがった形状になっています。取り扱いは、ケガにご注意ください。
- すべての固定用のツメがかかっていることを確認してください。かかっているツメがある場合、脱落や粉失のおそれがあります。
- 目的以外の用途に使用しないでください。

【注意】

- 取りはずし取り付けの際は、指や爪をケガしないよう注意してください。
- ホイールキャップ固定用のツメの先端は、はずれにくくするためとがった形状になっています。取り扱いは、ケガにご注意ください。
- すべての固定用のツメがかかっていることを確認してください。かかっているツメがある場合、脱落や粉失のおそれがあります。
- 目的以外の用途に使用しないでください。

リバーシブルの使いかた

【ポイント】

- シートライナー上部の取付用ポケットをひっくり返し、表面にかぶせる。
- 取付ベルトを取付ベルト通し穴から、表面に引き出す。
- シートライナー下部の取付用ベルトと定受け(ループ)を表側にひっくり返す。

背もたれの倒しかた

【ポイント】

- 片方の手で、お子さまの体を支え、他方の手で、リクライニングバックルの中央リングを引っばる。
- 背もたれを倒す。ヘッドレストが起き上がってきます。(ムービングヘッドガード機能)

【注意】

- 1人でお座りができるお子さまでヘッドレストの位置に頭がくると、背もたれを倒したときに無理な姿勢になりますので、ヘッドレストが起き上がらない位置でとめてください。

背もたれの起こしかた

【ポイント】

- 背もたれを起こすときは、お子さまの体重が背もたれにかかっている状態で、リクライニングバックルを左右に引っばる。

【注意】

- お子さまの体重を背もたれにかけたままでは、起こすことができません。
- 片方の手でリクライニングバックルを兼ねて持ち、他方の手でリクライニングバックルを前方へスライドさせて背もたれを起こすことができます。

シートライナーの取り付けかた、はずしかた

【ポイント】

- 背もたれを起こし、バックルボタンを押して、股バックルから肩・腰バックルをはずす。※背もたれを倒した状態で、シートライナーが取り付けにくい場合があります。
- シートライナーをシートにのせ、表面の取付用ポケットをシートの上端にかぶせる。
- 取付用ベルトループをシート前端に通す。
- 肩・腰ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。

【注意】

- 足受けを使用するとき、足受けを使用すると、お子さまが寝たときに楽な姿勢にできます。①股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。(股ベルト固定用ループには通しません) ②足受けのループをシート前端に通す。③足受けをシート前端にのせる。
- 足受けを使用しないとき ①股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。(股ベルト固定用ループには通しません) ②足受けのループをシート前端に通す。

リクライニングの使いかた

【ポイント】

- リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調整してください。

【注意】

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないよう十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態で使用してください。

シートライナーの取り付けかた、はずしかた

【ポイント】

- 背もたれを起こし、バックルボタンを押して、股バックルから肩・腰バックルをはずす。※背もたれを倒した状態で、シートライナーが取り付けにくい場合があります。
- シートライナーをシートにのせ、表面の取付用ポケットをシートの上端にかぶせる。
- 取付用ベルトループをシート前端に通す。
- 肩・腰ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。

【注意】

- 足受けを使用するとき、足受けを使用すると、お子さまが寝たときに楽な姿勢にできます。①股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。(股ベルト固定用ループには通しません) ②足受けのループをシート前端に通す。③足受けをシート前端にのせる。
- 足受けを使用しないとき ①股ベルトをシートライナーのベルト通し穴から表面に引き出す。(股ベルト固定用ループには通しません) ②足受けのループをシート前端に通す。

リクライニングの使いかた

【ポイント】

- リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調整してください。

【注意】

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないよう十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態で使用してください。

ホイールキャップの取り付けかた、はずしかた

【ポイント】

- 取りはずし取り付けの際は、指や爪をケガしないよう注意してください。
- ホイールキャップ固定用のツメの先端は、はずれにくくするためとがった形状になっています。取り扱いは、ケガにご注意ください。
- すべての固定用のツメがかかっていることを確認してください。かかっているツメがある場合、脱落や粉失のおそれがあります。
- 目的以外の用途に使用しないでください。

【注意】

- 取りはずし取り付けの際は、指や爪をケガしないよう注意してください。
- ホイールキャップ固定用のツメの先端は、はずれにくくするためとがった形状になっています。取り扱いは、ケガにご注意ください。
- すべての固定用のツメがかかっていることを確認してください。かかっているツメがある場合、脱落や粉失のおそれがあります。
- 目的以外の用途に使用しないでください。

リクライニングの使いかた

【ポイント】

- リクライニング操作時には、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作する場合、背もたれを倒すときは必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- リクライニング操作後は、シートベルトを適切な長さに調整してください。

【注意】

- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子さまを乗せたままリクライニング操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないよう十分ご注意ください。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒すときは、必ずお子さまの体を支えてください。
- お座りができないお子さまの場合は、1番倒した状態から中間位置まで起こした状態で使用してください。